

9月20日(日)～26日(土)は

# 動物愛護週間です



動物愛護週間は、動物の愛護と適正な飼養について、皆さんの理解と関心を深めていただくためのものです。

## 動物の飼い主の責任

① 動物の種類や習性に応じて動物の健康と安全を確保しましょう。

② 動物が人に迷惑を及ぼすことのないように努めましょう。

③ みだりに繁殖することのないように不妊去勢手術を行いましょう。

④ 動物による感染症について正しい知識を持ち感染症の予防のために必要な注意を払いましょう。

⑤ 動物が自分の所有であることを明らかにするための措置を講じましょう。

## 動物を飼う前に

犬や猫に限らず、動物を飼うのは大変なことです。動物は私たち人間と同じように「命」ある存在だからです。「かわいい」という気持ちだけでは、動物は飼えません。「飼いたい」だけでなく、「飼っていく」ことができるのか、きちんと考えましょう。

## 動物を飼ううえで

動物が好きなのもいけば、苦手な人もいます。周囲の方々への配慮をし、マナーを守り、最後まで責任を持って飼養しましょう。

問環境課 ☎(72) 4438

## 公共下水道に接続を！ 9月10日は下水道の日

本町の公共下水道は、汚水と雨水を別々に処理する「分流式」を採用しています。

これらの汚水を地下の下水道管に流すと、平塚市にある四之宮水再生センターで、きれいな水にするための処理が行われます。そして、きれいになった水を河川に放流することで、川や海がきれいになり、私たちの町は美しく、住みやすくなります。

公共下水道の接続について  
台所などから出る汚水を公共下水道へ導くための排水設備(接続)の設置により、公衆衛生の向上や浸水対策等公共下水道整備の効果が現れます。  
公共下水道処理区域に建物を所有している方は、速やかに排水設備を設置しましょう。

問下水道課 ☎内線214

## こんにちは 保健師です

9月10日(木)～16日(水)は自殺予防週間です

日本の自殺者数は、平成10年の32,863人から、様々な対策により、平成30年には、20,840人まで減少しましたが、欧米の先進国と比較すると依然として高い水準です。年代別で見ると、若者の自殺の数は増えています。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの方々の生活が脅かされ、休校など心の動揺が起こるような状況が心配されています。

自殺に追い込まれる人には平均4つの困難(病気・経済・人間関係など)が重なることが調査により分かっています。追い込まれると、解決に向けての判断力が落ち、自らは動けず、助けを求めることさえ難しくなります。すると孤立感が増し、ますます追い込まれて周りが見えなくなります。

そのような人の変化に気づき、耳を傾け、支援先につなげながら温かく見守れるように、私たち一人ひとりが「命を守る」ために動けること(ゲートキーパー)が自殺予防につながります。

町では、庁舎内や公用車にのぼり旗やパネルなどで、自殺予防週間の啓発を行います。

そんな自分から、私から、少しだけ変わろうかなと思った

一人ひとりのほんの少しの勇気と行動で、守れる命があります



●こころの健康相談統一ダイヤル ☎0570 (064) 556 (有料)

●よりそいホットライン (24時間対応) ☎0120 (279) 338 FAX 03 (3868) 3811

●支援情報検索サイト



●SNS相談事業



●詳しくは

厚生労働省自殺対策

検索

問スポーツ健康課 小川 ☎内線308